

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月15日

【評価実施概要】

事業所番号	272400649		
法人名	社会福祉法人つがる三和会		
事業所名	グループホームいたや荘		
所在地 (電話番号)	〒038-3645 青森県北津軽郡板柳町辻字岸田6番地の1 (電話) 0172-79-2101		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 1月 22日	評価確定日	平成 21年 2月 15日

【情報提供票より】(平成21年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 10月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤 9人, 非常勤 15人, 常勤換算	10.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての 1階 ~ 3階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	9600~冬期12,600 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	26 名	男性	5 名	女性	21 名
要介護1	4 名	要介護2	12 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.8 歳	最低	59 歳	最高	104 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院, 佐藤歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人のサービスセンター、ケアハウスに併設されている三階建て3ユニットの近代的で設備が整っているグループホームである。部屋の窓からは岩木山やりんご畑が眺められ自然を満喫できる環境である。すぐ近くには小学校があり、子供たちとの交流も行われている。ホームの中は明るく、きれいで、各部屋には空気清浄器も取り付けられており、利用者の健康管理に配慮されている。又天然温泉の為、入浴したい時に入浴出来るようになっている。利用者、職員間の会話も多く、理念である地域の中で自分らしく居心地良く安心して生活出来るようにと職員一丸となり、日々サービスの向上に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価での改善点について全職員で話し合い、迅速に対応し改善に向けて積極的に対応している。しかし前回の課題である利用者が自由に入出入り出来る工夫に関して、外には自由に出ることはできるが、防犯の為外から入る時に暗証番号の入力やベルを押して職員が対応しなければ開かないようになっているので、今後スムーズに入出入りできる等の工夫が望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に関して職員全員で取り組み、現在行われている業務を見直す等サービスの質向上の為、積極的な取り組みが行われている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回町会長、民生委員、家族、役場職員が参加し定期的に行われている。会議では外部評価の報告やホームの状況報告、行事についての話し合いが行われ、参加者からは積極的な意見アイディアが出され、サービスの向上に活かされている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>玄関先には意見、要望箱を設置している。苦情窓口担当者の掲示もされている。家族の面会時には職員が積極的に声がけし、意見、要望を出しやすいよう配慮している。又家族から出された要望の中でその場で出来ることは速やかに対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>住宅地から少し離れているが、すぐ近くに小学校があり子供たちが来て交流したり、防災訓練の時は地域の方の協力が得られたりしている。地域の方が今以上に気軽に立ち寄れるようになるよう広報誌の回覧などホームからの働きかけが望まれる。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の「平和」「調和」「親和」の三つの和を基にホーム独自に「自分らしく、居心地の良い、安心できる」という理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務室に理念を掲げ、全員で読み合わせ確認を行い、管理者と職員は理念の共有が出来ており、日々のケアに活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	併設のケアハウス、デイサービスセンターとの合同行事(夏祭り)や訪問の受け入れ、小学校との交流、高校生の職場体験の受け入れ等の取り組みがなされている。しかしホーム側からの地域への働きかけや貢献については検討中である。		取り組みのきっかけとしてグループホーム独自の広報誌を3ヶ月に1回発行して、町内会や老人クラブ等へグループホームの理解をお願いすると共に、気軽に行き来して頂きたいというPRや情報の提供を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で取り組み、課題等に関しては迅速な対応がされており、ケアの改善に努めている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に行われ、サービスの状況報告や評価への取り組みと改善点等の積極的な話し合いが行われ、サービスの向上に活かされている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町担当者へは電話や直接出向いて、細かい事柄について、報告、連絡、相談を行っている。又経営者は町の協議会へ出席し、運営やサービスの質向上、ケースの情報等共有し、連携が出来ている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部の研修や法人の研修に参加し、学ぶ機会を持ち、必要な利用者には活用出来るよう支援されている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修や法人の研修に参加し、学ぶ機会を持っている。又法人のマニュアルも作成されており、虐待防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、本人、家族に十分説明し、きちんと納得、理解して頂いた上で、契約を取り交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時は必ず近況報告を行い、利用料の支払い時は預り金や領収書の確認をして頂いている。又遠方の方へは、電話や手紙にて報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し、意見要望が出しやすいよう配慮している。又家族が面会に見えた時は、直接話しを聞いて、出来るところは直ぐ対応し改善に努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職の時は前もって利用者に説明し、お別れ会を行う等、不安にならないよう配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加した人からの報告会や法人全体での研修会が行われている。又マンツーマンで働きながら、育成を行っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会を活用して、情報交換や交流する機会を持ち、そこで得た知識は、職員へ報告し、サービスの質向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅や入院先の病院を訪問して面会を行い、顔なじみになることで、安心してサービスを利用できるように取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から子育ての事や漬物のつけ方、畑づくり等学ぶ事は沢山あり、そういう会話を大事にして、共に支えあう関係が出来ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に本人、家族から希望や意向を聞くようになっている。困難な時は生活歴や本人の暮らしぶり、状況から、本人本位に判断し、対応するように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族から事前に意向を聞き、アセスメントし、本人、家族、職員の話し合いの上、介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回の定期的な見直しと、利用者に状態変化が見られた時はその都度見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>行きつけの理髪店を利用したり、町内会の夏祭り参加等要望に応じて、支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院への受診と、本人、家族の希望に応じて、町内の医院の受診支援を行っている。又家族の協力も得られ、外食と交流を兼ね受診の付き添いを行ってくれる家族もいる。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時、契約書にて確認している。細かい部分で医療行為が必要になった時の医療施設への移行について説明している。又常に主治医、家族と連絡を取り合い、方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>広報誌(年2回発行)の写真掲載や部屋の表札は本人、家族の了承を得ている。又個人の記録物の保管や個人毎の面会簿はプライバシーの確保がなされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の思いや意向を尊重し、一人ひとりのペースを大切にケアを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けは利用者と職員と一緒にしている。又一緒に食事を囲み、会話を楽しみながら食事を摂っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	温泉の為毎日でも入浴でき、入りたい時に入浴出来る支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カーテンの開閉、食事の準備や後片付け、洗濯物畳み、畑づくり、天気の良い日は散歩等楽しみを持てる日々を過ごしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩等の個別の対応や野菜作りを通じた外出支援を行っている。冬期間は外出の機会が少なくなっている。		気候の事もあがるが、利用者の気分転換を考えた場合冬期間も外出する機会を持てるよう支援することを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行われていない。職員は外部研修会や法人内の勉強会に参加、理解しており、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中、玄関の鍵はかけていないが、玄関から入る時に、暗証番号の入力か、ベルを押して職員が対応しなければ、開かないようになっている。</p>		<p>地域の人たちが、行き来しやすいグループホームを念頭においた時、日中は時間を決めて、開放する等工夫して頂く事を期待します。</p>
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、消防署や地域の人たちの協力のもと、避難訓練を実施している。又全館スプリンクラーが設置されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>併設の施設の栄養士が献立を作成しており、個人の希望や状態に応じた対応がされている。又水分、食事摂取量のチェックも行われ、記録し把握している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>職員会議や勉強会で周知徹底されており、マニュアルも細かな部分(手洗い、嗽方法等)まで配慮し整備されている。予防の対応として日々の食器消毒の実施や玄関に手指消毒器の設置をしている。また、職員、利用者は全員インフルエンザの予防接種を受ける等徹底されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室に洗面所とトイレがあり、空気清浄器も取り付けられている。共有する居間や食堂の空調、光や音も快適である。飾り付けも季節感がある。窓からは岩木山やりんご畑が眺められ、気持ちが癒される環境である。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家財の持ち込みは自由となっている。使い慣れたタンスやテレビ、家族の写真等も飾られ、居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。